



# 2021年4月号 ウトナイ湖通信

No.203

ウトナイ湖野生鳥獣保護センター 発行

## トピックス

### 夏鳥の到着シーズンとなりました

冬の間、越冬地で過ごしていた夏鳥が、繁殖のため北海道に渡ってくる季節となりました。越冬地は野鳥によって、本州、オーストラリア、東南アジアなど様々です。ウトナイ湖周辺では3月下旬から5月下旬頃にかけて、様々な夏鳥が到着します。レンジャーがそのシーズンに渡り鳥を初めて確認した日を「初認日」と呼びます。今シーズンの到着はいつになるのでしょうか。

これからの季節、野鳥たちは子育てのシーズンに入りますので、静かに距離を保って観察し、むやみに野鳥や巣に近づかないようにお願いします。



キジバト  
昨年は3/27に初認



アオジ (写真はオス)  
昨年は4/15に初認



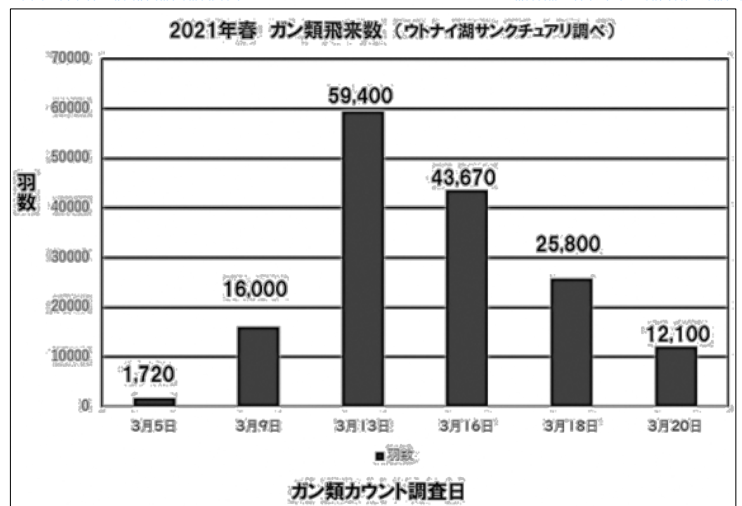
ウグイス  
昨年は4/16に初認



オオジシギ  
昨年は4/18に初認

### 今季のガン類飛来の傾向は？

越冬地から繁殖地のロシア方面へ北上するガン類が今シーズンも渡りの中継地であるウトナイ湖で羽を休めました。(公財)日本野鳥の会の調査では、右記のグラフのとおり徐々に羽数が増え、3/13に今季の最大数の59,400羽となりました。昨年の最大数の74,700羽には及びませんでしたが、今年も数万羽に及ぶガン類のねぐら立ちや、ねぐら入りが見られました。



### 春の渡り鳥ウォッチングを開催しました

3/14に標記のイベントを開催し、レンジャーや当センターのボランティアが11名の参加者に、水鳥を中心とした野鳥をご案内しました。渡り鳥のハクチョウ類・カモ類が少ない中でしたが、オオワシ、オジロワシ、ノスリ、ダイサギ、ミコアイサなどが見られました。参加者アンケートで全員の方から「また参加したい」との回答をいただきました。



【自然観察路情報】 観察された生きもの

2021年3月7日(日) 10:00~12:00

《野鳥》エナガ(亜種シマエナガ)、コゲラ、シジュウカラ、ハシブトガラ  
ゴジュウカラ、キバシリ、マヒワ、ツグミ、トビ、オオハクチョウ

《植物》【種】ハンノキ 【冬芽】エゾニワトコ、キタコブシ

【綿毛】バッコヤナギ、ヤナギの仲間、【落下した実と装飾花】ノリウツギ

《その他》【その他】エゾシカの足跡、エゾリスの足跡、エゾユキウサギの足跡

エゾタヌキの足跡(足跡はすべて雪上)、アカハラ?の古巣、クモの仲間



エナガ  
(亜種シマエナガ)

【水鳥カウント調査結果】 2021年3月18日(木) 15:00~16:00

観察された水鳥、ワシ・タカ類 \* ( ) 内は個体数、(+) は以上、(±) は「前後」の意味

ヒシクイ(18羽)、マガン(125羽±)、コブハクチョウ(4羽)、コハクチョウ(29羽)

オオハクチョウ(146羽)、ヨシガモ(12羽)、ヒドリガモ(170羽)、マガモ(476羽)

ハシビロガモ(8羽)、オナガガモ(1310羽+)、コガモ(33羽)、キンクロハジロ

(5羽)、ホオジロガモ(6羽)、ミコアイサ(14羽)、カワアイサ(18羽)

カイツブリ(1羽)、カワウ(1羽)、アオサギ(5羽)、

ダイサギ(5羽)、トビ(6羽)、オジロワシ(9羽)、オオワシ(4羽)



オナガガモ



ホオジロガモ

4月の自然予報

少しずつ春の花が見られるようになります。

冬の間も、地面で緑の葉を見せていたフッキソウやナニワズ。

いよいよ花が咲く季節に!! 足元にあるので踏まないようにお気をつけください。



ナニワズ(黄色い花)

4月上旬頃開花しそうです  
葉はギザギザしておらず、ツヤはありません。いい香りがします。



フッキソウ(白い花)

4月下旬頃開花しそうです  
葉の形がギザギザで、ツヤがあります。



ミスバショウ

4月に咲くかもしれませんが、オタルマップ川の木道付近で見られます。

他にもこんな生きものが見られるかもしれません



シータデハ(チョウ)

春の陽ざしがあつたかいなあ。



シमारリス

冬眠から、目を覚ましたよ!



ウトナイ湖やその周辺では、生きもの(動植物、昆虫、魚類等)の採取はできません。

### 【メジロ】

例年4月に夏鳥として渡ってきます。全長12cm。雌雄同色で鮮やかな黄緑色が特徴です。この色でウグイスと間違えられることもあります。ウトナイ湖周辺では、花や実がある木に来ていることがあります。

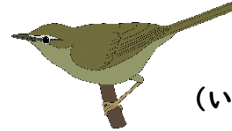


4月に咲くバッコヤナギの花を目当てに来たメジロ

\*ウトナイ湖に関するクイズ  
毎回、その月にあわせたテーマで出題しています。  
あなたもウトナイ博士になれる?かも。

**Q. 春から夏に聞かれる野鳥の「さえずり」。**  
**ウトナイ湖周辺で、さえずりが聞くことができない野鳥は？**

(あ) ウグイス



(う) アオジ



(い) ツグミ



※「さえずり」とは、野鳥のオスが繁殖期に求愛や縄張りのアピールで出す声です。

答えは最後のページです。

### 傷病鳥獣ルームから



当センターでは、国指定ウトナイ湖鳥獣保護区とその周辺（苫小牧市行政区域内）において人為的な原因で保護された傷病鳥獣の救護・リハビリを行っています。その活動の一端をみなさまに知っていただくコーナーとして、ここでご紹介いたします。

### マヒワ

2020年 11月 17日



初診時の様子

11月17日

11：20頃、民家の窓の下で倒れているところを発見され、12：30頃保護センターへ搬送。

保護現場の状況から、窓ガラスへの衝突が疑われた。初診時では、やや沈うつ状態だったが、検査では明らかな異常は確認できなかった。

1時間ほど、保温・安静状態にして経過観察を行ったが、次第に動きが活発。飛翔能力も十分だったため、リリースにいたった。

リリース



### マヒワ（スズメ目 アトリ科）

全長13cm。1年を通じ、北海道で観察できます。生息環境は平地から山地の森林ですが、冬季になると平地の森や林に、小群で漂行し、市街地の公園などにも飛来します。主食はエゾマツ、カラマツ、ハンノキ、ダケカンバといった樹木の種ですが、繁殖期では昆虫も食べます。



登録ボランティアの活動について

当センターの活動に、登録ボランティアの皆様がご協力くださっています。昨年度も様々な場面でサポートしてくださいました。こうした皆さんの力は、自然の保護に繋がっています。



水鳥カウント調査のサポート



自然情報収集調査のサポート



展示物の作成



展示物の作成



高圧洗浄機で清掃中



傷病鳥用の止まり木を作成



周辺のゴミ拾い



野鳥の観察会のサポート



イベントでの参加者サポート



自然ガイド動画での案内

当センターのボランティア活動に興味のある方は、窓口またはお電話でお問い合わせください。

市民ギャラリー 第2回 奥山博美 点描画展  
～ 勇払原野の野鳥たち 2 ～

日時：4月11日(日)～5月8日(土)

展示：奥山 博美 氏

内容：木の板に、はんだを使って焼き付けた点描画です。



救護室バックヤードツアー イベント情報

日時：4月17日(土) 11:00～11:40

内容：当センターの獣医師が、通常一般公開していない救護室やリハビリケージなどをご案内します。

参加費：無料

対象：どなたでも / 定員：10名

申込期間：4/1～4/16 (定員になり次第受付終了)

申込方法：電話または直接窓口へ



お知らせ 大型連休中(GW)の開館について

4月29日(木・祝)～5月5日(水・祝)は開館します。5月6日(木)は休館日です。

◆ウトナイ湖◆

周囲約9km、面積約275ha、平均水深約0.6mの淡水湖です。

鳥類はこれまでに約270種が確認され、ガン・カモ・ハクチョウなどの渡り鳥にとって重要な中継地、越冬地となっています。このためウトナイ湖は、国指定鳥獣保護区特別保護地区、ラムサール条約湿地、東アジア・オーストラリア地域渡り性水鳥重要生息地ネットワークに指定、登録されています。

◆ウトナイ湖野生鳥獣保護センター◆

環境省が「野生鳥獣との共生環境整備事業」により建設し、苫小牧市と共同管理する施設です。また、苫小牧市が業務の一部を(公財)日本野鳥の会に委託しています。

【利用案内】

〒059-1365 苫小牧市植苗 156-26 TEL. 0144-58-2231 / FAX. 0144-51-8600

入館無料 / 開館時間：午前9時～午後5時 / 休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌日)及び年末年始

